

3-graph と 4-graph について

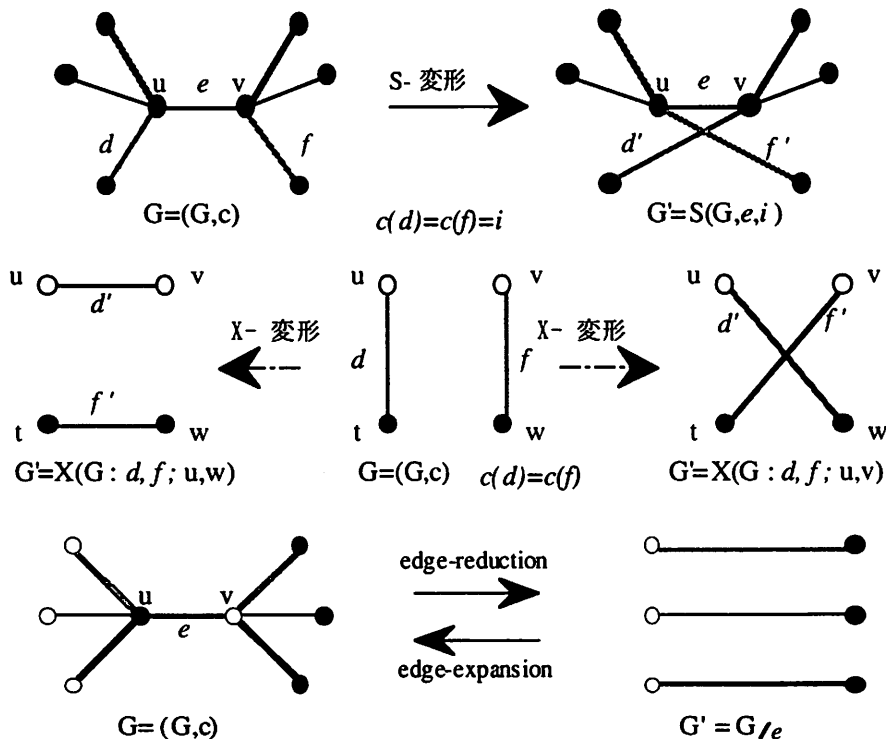
津久井 康之(専修大学)

§ Introduction

loopを持たない連結 r -regular graph $G = (V, E)$ に $c : E \rightarrow Nr = \{1, 2, \dots, r\}$ を、 $e \sim e'$ (共通端点を持つ) ならば $c(e) \neq c(e')$ となる map (proper edge-colouring) とするとき、 (G, c) または略して G を r -graph という(すべての r -regular graph が r -graph となるわけではない)。集合 X に対し $\#X$ は X の濃度、 $\#_c X$ は X の連結成分数、 G がグラフのとき $|G| = \#V(G)$ は G の位数をそれぞれ表わす。

グラフ論的興味から、simple graph だけを対象とする。

Definition 1. (S -, X -, H -変形と edge-reduction)



$\exists H(H//e = G_1, H//e = G_2)$ のとき、 G_2 は G_1 から H -変形で得られるという。
 G_2 が G_1 から有限回の $*$ -変形で得られるとき、 G_1 と G_2 は $*$ -同値であるという($*$ = S, X, H)。
 これらの変形は、違った形で、辺彩色されない r -regular graph に対しても定義される[1]。

Key words and phrases. regular graph, 3-graph, 4-graph, edge-colouring.

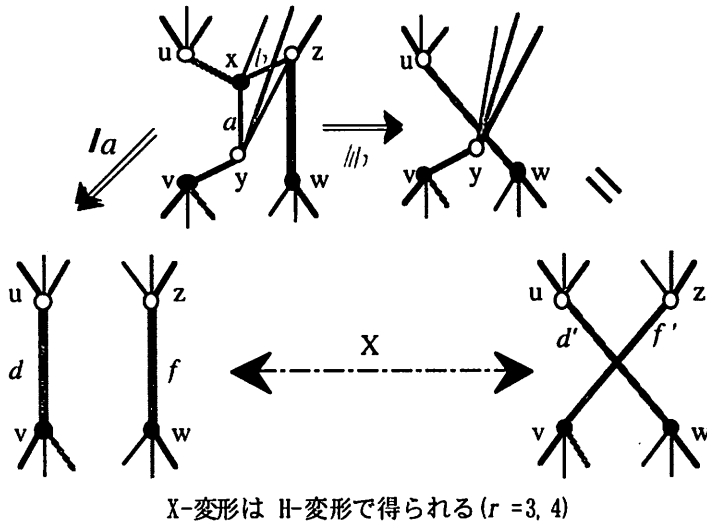
§ 3-graph と 4-graph

Theorem 1 [2].

3-graph に対して、S-変形は X-変形であり、X-変形は H-変形である。

Theorem 2 [2].

3-graph G_1, G_2 に対して $|G_1| = |G_2|$ ならば、 G_1 と G_2 は S-同値である。



次のことは上の図から明らかである。

Theorem 3.

4-graph に対しても S-変形は X-変形であり、X-変形は H-変形である。

Remark 1. Simple r-graph ($4 < r$) については、「X-変形は H-変形」は、成り立たないであろう。

Conjecture. 4-graph に対しても、Theorem 2 が成立つであろう。

§ Invariants

Definition 2. $G = (G, c)$ を連結 r -graph とするとき $M \subset Nr = \{1, 2, \dots, r\}$ に対して、 $G_M = (V, c^{-1}(M))$, $G_{\overline{M}} = (V, c^{-1}(Nr - M))$ と G の部分グラフを定める。このとき、 $b'_k = \sum_{\#M=k} \#G_M$ は $G = (G, c)$ の不変量であり、 $b'_0 = \#V(G)$, $b'_1 = \#E(G)$, $b'_r = \#G = 1$, b'_2 は G の二色サイクルの総数となる。($b'_k (k > 2)$ の定義は将来変更することになるかもしれない。)

Definition 3. グラフ $G = (G, c)$ の辺 $e = \langle u, v \rangle \in E = E(G)$ に対して、 $d''(e) = d_{(G-e)}(u, v)$, $d'(e) = d_{G_{c(e)}}(u, v)$ とする。 $d_{(G-e)}$ はグラフ $G - e$ の距離、 $d_{G_{c(e)}}$ はグラフ $G_{c(e)}$ の距離である。 d' は辺彩色グラフに対して定義され、 d'' は一般のグラフに対して定義される。 $G - e, G_{c(e)}$ が連結でないときは $d', d'' = \infty$ 。

d', d'' の長さ $\#E(G)$ の非減少列はグラフの(それぞれの同型の)不変量となる。 $d'(e)(d''(e)) = k_i$ なる辺が丁度 ϵ_i 個 ($\neq 0$) あるとき、表現 $k_1^{\epsilon_1} k_2^{\epsilon_2} \dots k_i^{\epsilon_i}$ ($\sum \epsilon_i = \#E$) も不変量である。

§ Examples

* *3-graph* と *cubic graph* の *S*-変形の *GRAPH* (8 頂点).

S-,*X*-,*H*-変形は可逆でそれぞれの定義される範囲で同値関係となり、グラフを頂点とし、1回の各*S*-,*X*-,*H*-変形で移るとき二つのグラフが隣接すると定めるとsimple GRAPH が定義される。

8 頂点では、*3-graph* は 7個、*cubic grpa* では 5個ある。(p.4)

** *3-graph* と *cubic graph* (10 頂点).

10 頂点の *3-graph* は 21 個、*cubic graph* は 19 個。*3-graph* でないものは、*bridge* を持つものと *Petersen graph* のみ。(p.5)

これらの GRAPH がつぎの二つ。

*** *3-graph* の *S*-変形の *GRAPH* (10 頂点). (p.6)

**** *cubic graph* の *S*-変形の *GRAPH* (10 頂点). (p.7)

* *4-graph* (8 頂点).

少し見にくいですが、 $b'_2(b'$ と表示) = 12 以外のものはすべて外周が二色サイクルである。799 – 804 は河野氏(北見工大)の同型でないグラフの表の番号。(p.8)

この6個のグラフに対する非同型判定は、A799とC801以外は d''' -invariants で出来るが、この二つについてはこれだけでは判定出来ない。

これら16個のグラフはすべて互いに *S* – 同値であることが確かめられている。なお、ここで使っている各グラフの名前・番号は作業のための便宜的なもので、特別な意味はない。

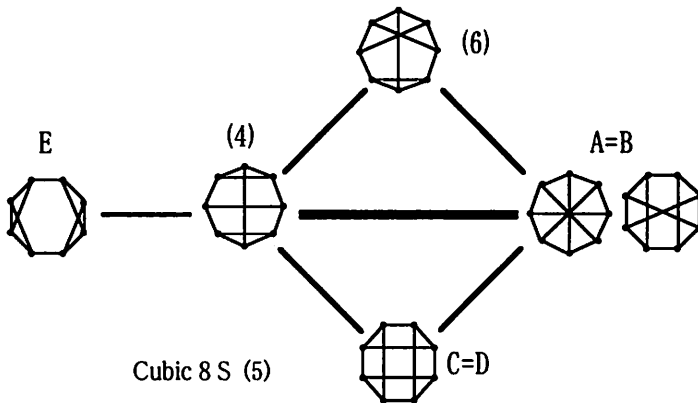
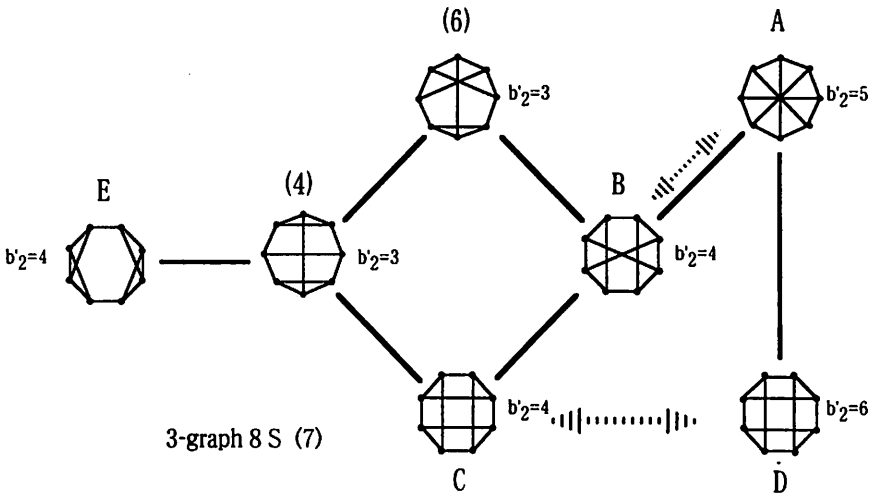
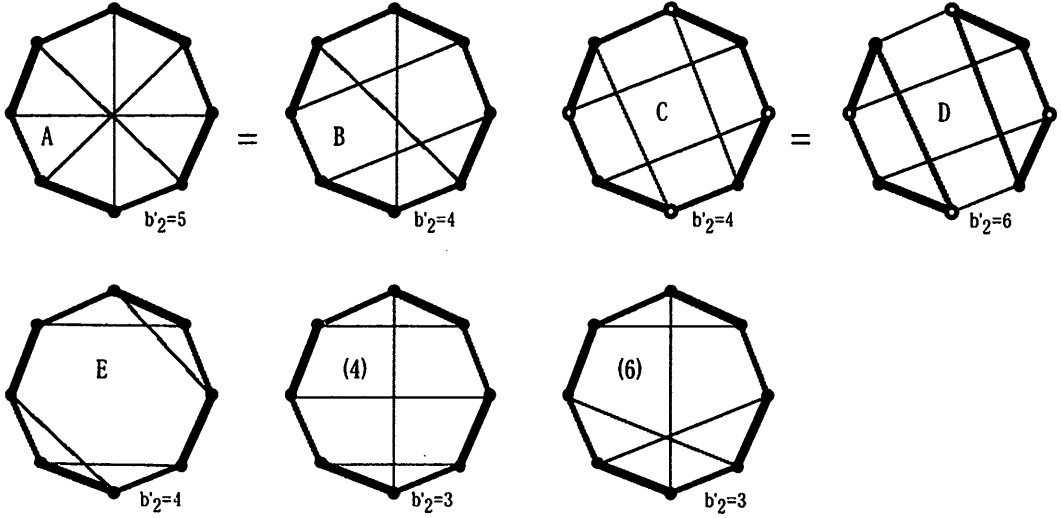
REFERENCES

1. Tsukui Y., *Transformations of cubic graphs*, J. Franclin Inst. **333(B)** (1996), 565-575.
2. Tsukui Y., *Transformations of ede-coloured cubic graphs*, Discrete Math. **184** (1998), 183-194.

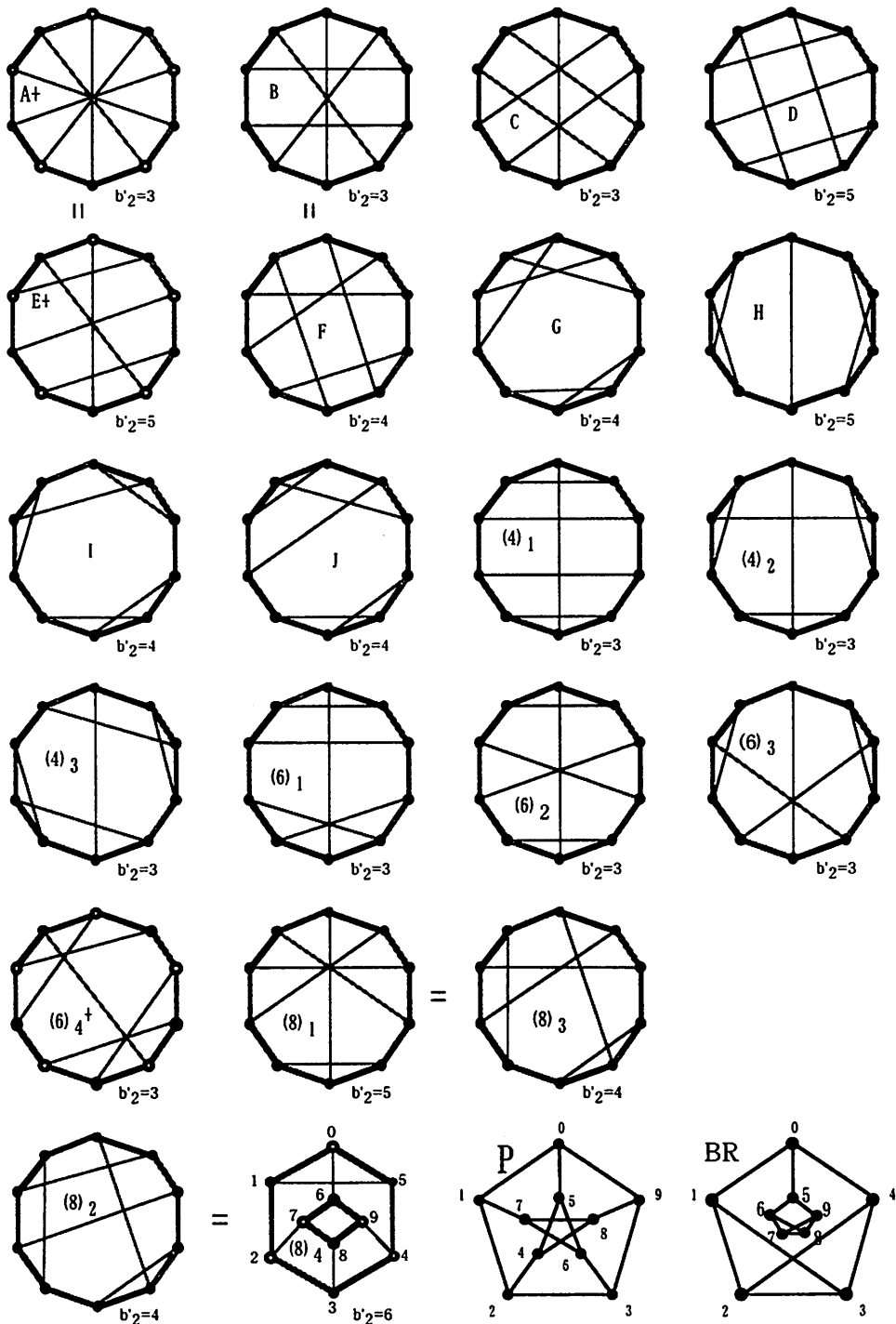
DEPARTMENT OF NETWORK AND INFORMATION, SENSU UNIVERSITY, 2-1-1 HIGASHI-MITA, TAMAKU, KAWASAKI, 214-8580 JAPAN.

E-mail address: tsukui@isc.senshu-u.ac.jp

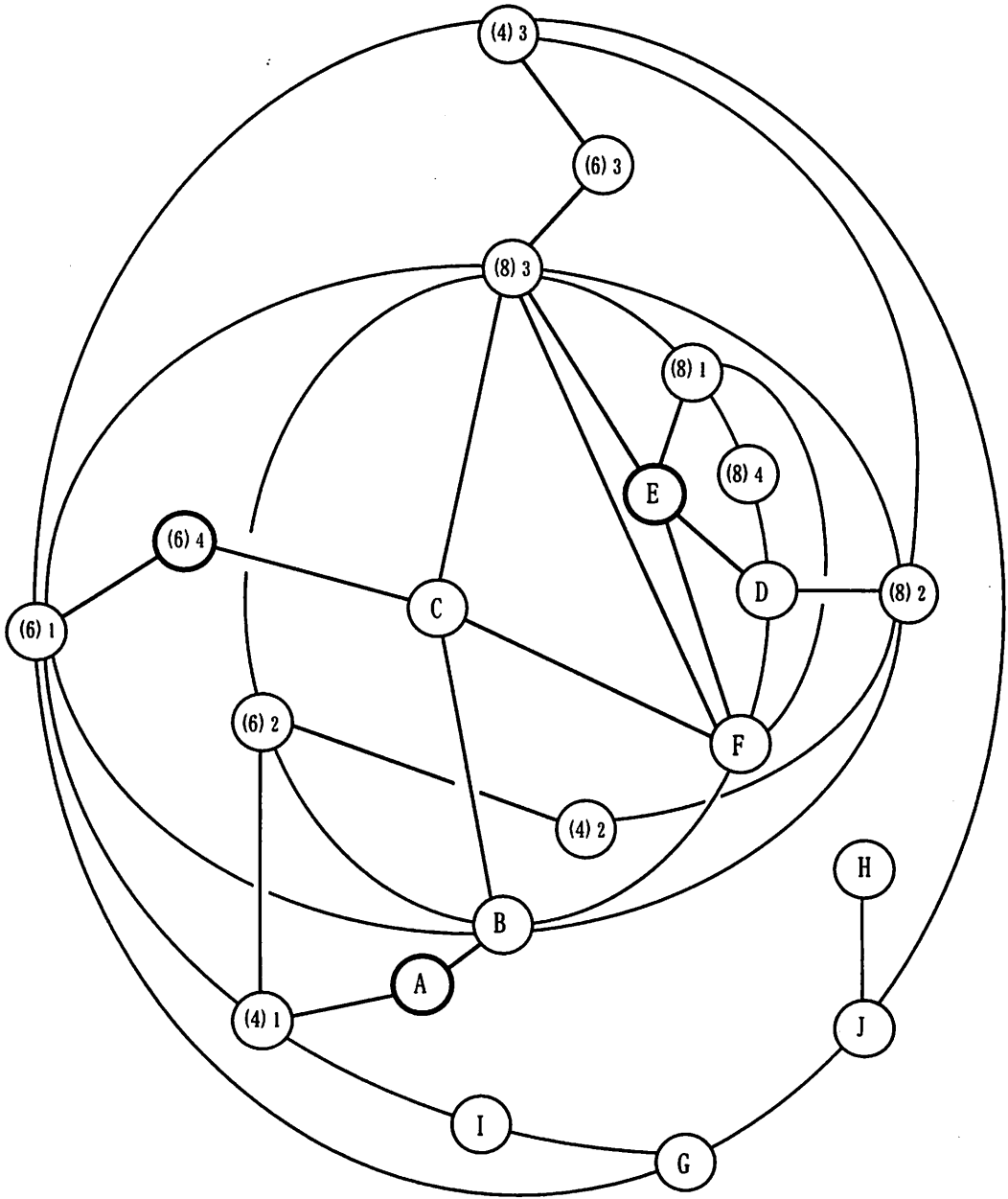
* 3-graph と cubic graph の S-変形の GRAPH (8頂点)



** 3-graph と cubic graph (10頂点)

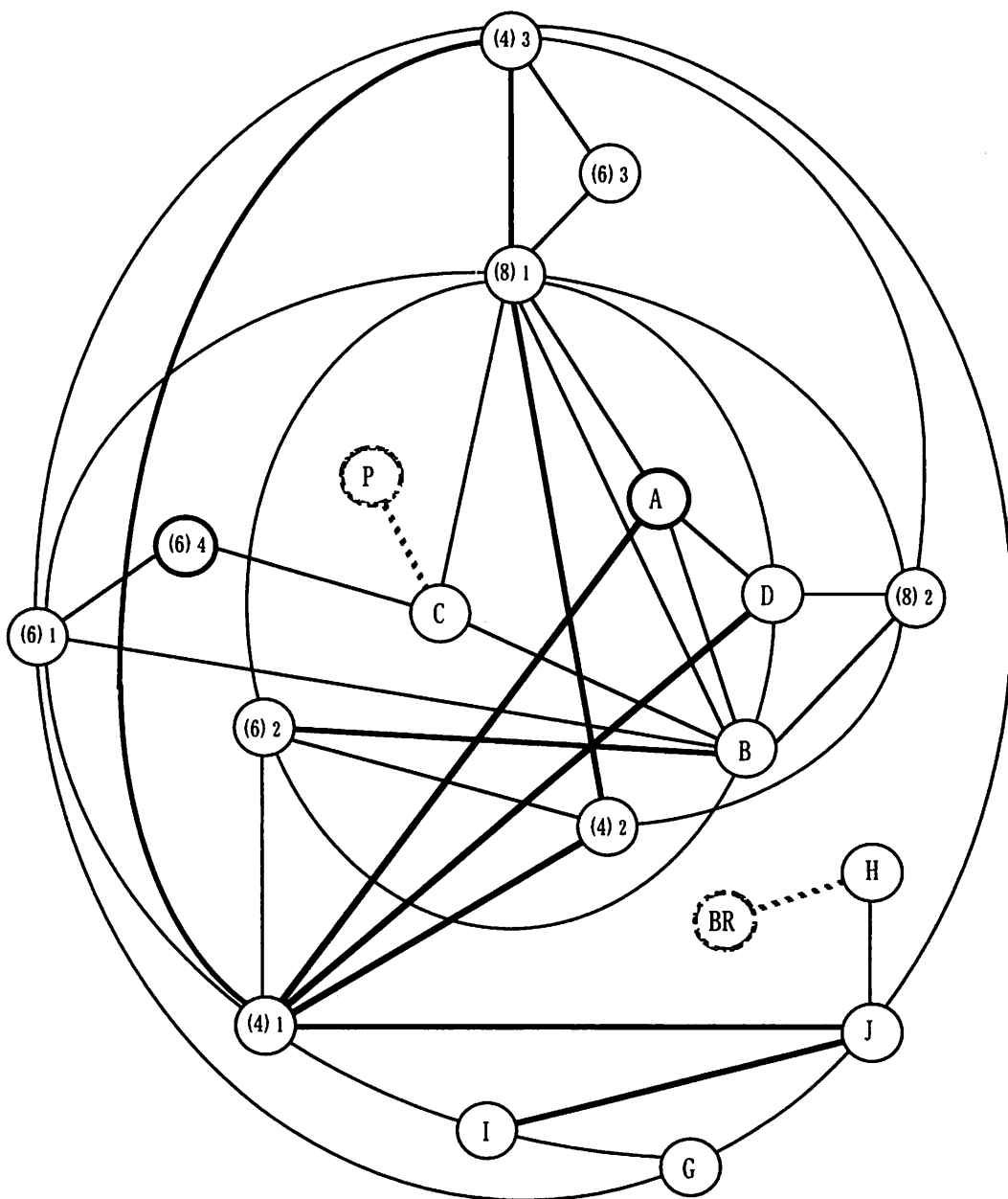


*** 3-graph の S-変形の GRAPH (10頂点)



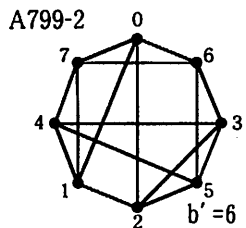
3-graph 10 (S) (21)

**** cubic graph の S-変形の GRAPH (10頂点)



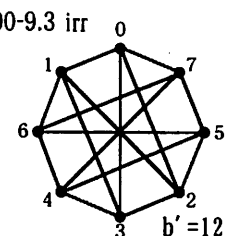
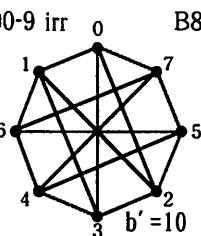
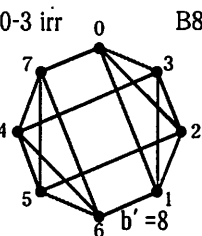
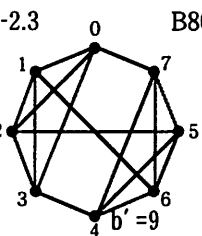
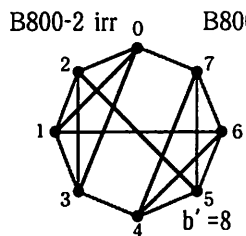
Cubic 10* (S) (19)

* 4-graph (8頂点)

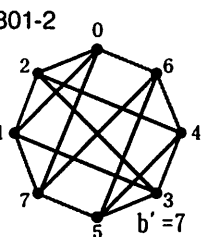
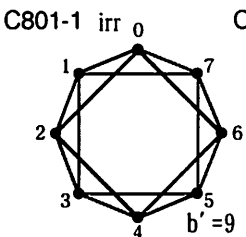


(irr は edge-irreducible を表す)

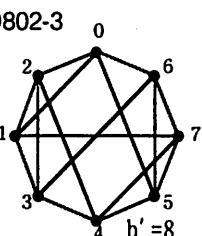
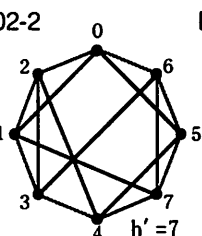
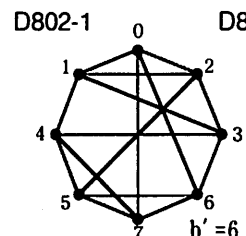
A799: 2^{16}



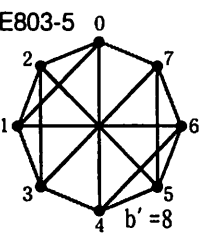
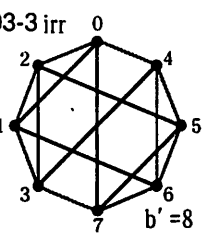
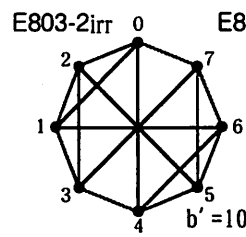
B800: $2^{12}3^4$



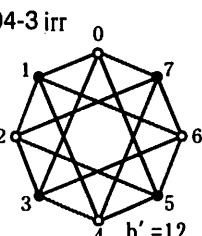
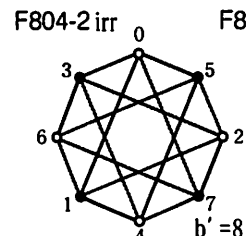
C801: 2^{16}



D802: $2^{14}3^2$



E803: $2^{10}3^6$



F804: 3^{16}